

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	濃縮個別 03-2 R0
提出年月日	令和3年1月29日

加工施設（ウラン濃縮）設工認の  
仕様表、添付説明書、図面の関係性  
に係る補足説明資料

## 目 次

1. 概要 ..... 1
2. 今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表 ..... 2

1. 概要

本資料は、今回の設工認申請書のうち仕様表の「変更後」の記載項目について、添付説明書、図面との関係を示し、今後、添付説明書で適合説明が必要な内容を明確化するためのものである。

以下に今回の補足説明資料の位置付けを示す。

補足説明資料の位置付けについて

確認 手順	資料名称	資料			
		設工認申請書		エビデンス等	
手順 1	濃縮個別 03-1 仕様表の変更 前後に係る補 足説明資料	①主要設備 リスト	「変更前」 の記載内容	「変更後」 の記載内容	a. 既認可設工認 の記載（写し） b. 事業変更許可 申請書の記載 （写し） c. 設計図書の記載 （写し）
		②仕様表	「変更前」 の記載内容	「変更後」 の記載内容	
				手順 2	
手順 2	濃縮個別 03-2 仕様表、添付 説明書、図面 の関係性に係 る補足説明資 料	各添付説明 書	変更に伴う適合説明		
		各図面	変更に伴う図面		



## 2. 今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表

今回、仕様表の記載項目のうち、「変更前」の記載の妥当性については、「濃縮個別 03-1 仕様表の変更前後に係る補足説明資料」により既認可設工認申請書、事業変更許可申請書等の根拠との紐づけを行うことで示すが、「変更後」の記載については、今後、添付説明書、図面等で適合性の詳細を示す必要がある。

そのため、次頁の整理表により、仕様表の変更後の記載項目と添付説明書及び図面の関係を示し、今後、添付説明書で適合説明が必要な内容を明確化する。

なお、基本設計方針の変更により添付説明書において、適合性を示す必要があるものについては、全社共通（グループ①）の説明において整理する。

本表の記載内容の説明

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 UF6処理設備）

設備	機器名称	今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの（耐震を除く※）	変更となる仕様に係る添付説明書（次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面
		項目	単位	変更前	変更後			
UF6処理設備	2号捕集排気系ロータリポンプ	主要寸法	たて	mm	■	■	-	【構造図】 ・図3.1.19 UF6 処理設備 構造図 2号捕集排気系ロータリポンプ 【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更後）
			横	mm	■	■		
			高さ	mm	■	■		
UF6処理設備	2Aカスケード排気系プースタポンプ（CS系）	主要寸法	容量	ml/h/基	■	■	・加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書（使用物質に対して十分な耐食性を有する鋼鉄を使用する旨を記載） ・加工施設の火災防護に関する説明書（UF6 を内包する機器等の主要な部分は、不燃性の材料を使用する旨を記載）	【構造図】 ・図3.1.8 UF6 処理設備 構造図 2Aカスケード排気系プースタポンプ（CS系） 【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更後）
			たて	mm	■	■		
			横	mm	■	■		
		高さ	mm	■	■			
		主要材料	-	■	■	・第十条 閉じ込めの機能 ・第十一条 火災等による損傷の防止		
原動機出力	kW/基	2.2	1.5	・ポンプの出力は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、技術基準で該当するものではなく、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。				
UF6処理設備	2号カスケード排気系プースタポンプ（CB系）	主要寸法	容量	ml/h/基	■	■	・加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書（使用物質に対して十分な耐食性を有する鋼鉄を使用する旨を記載） ・加工施設の火災防護に関する説明書（UF6 を内包する機器等の主要な部分は、不燃性の材料を使用する旨を記載）	【構造図】 ・図3.1.9 UF6 処理設備 構造図 2号カスケード排気系プースタポンプ（CB系） 【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更後）
			たて	mm	■	■		
			横	mm	■	■		
		高さ	mm	■	■			
		主要材料	-	■	■	・第十条 閉じ込めの機能 ・第十一条 火災等による損傷の防止		
原動機出力	kW/基	2.2	1.5	・ポンプの出力は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、技術基準で該当するものではなく、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。				

※ 耐震に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割り増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。

① 設工認の仕様表のうち仕様の変更を伴う設備・機器を全て転記

② 設工認の仕様表の記載項目のうち「変更後」に記載がある項目を全て転記

③ 変更となる仕様に対して技術基準上、添付説明書で説明が必要となるかを整理。必要となるものは該当条文を記載するとともに水色でハッチングし明確化。

④ 変更となる仕様に係る添付説明書の名称を記載。また、かつこ書きで記載の概要を示す。添付説明書の詳細は次回以降の説明で実施。

⑤ 変更となる仕様に係る図面の名称を記載。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 カスケード設備）

設備	機器名称	今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの （耐震を除く※）	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.	
		項目	単位	変更前	変更後					
カスケード設備	2A製品ブースタポンプ	-	-	-	撤去	・撤去されるため本機器に対して適用される条文はないと整理。（撤去後の配管の閉じ込みについては基本設計方針に基づき対応と整理した。）	-	<b>【系統図】</b> ・図1.1.1 カスケード設備 系統概略図（変更前） ・図1.1.2 カスケード設備 系統概略図（変更後）	1	
計装設備	地震計	検出器の種類	-	-	地震計（水平）	・第十八条 警報設備  ・警報設備等に関する説明書（インターロックの制限値、検出端、動作、動作概要図、電気信号図を記載）（第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度（震度5強～6弱程度（第2類の地震力に相当するおおよそ250 Gal程度））を検知して警報を発生、カスケード設備のUF6をカスケード排気系で排気する地震発生時のカスケード排気のインターロックを設ける旨を記載）	・警報設備等に関する説明書（インターロックの制限値、検出端、動作、動作概要図、電気信号図を記載）（第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度（震度5強～6弱程度（第2類の地震力に相当するおおよそ250 Gal程度））を検知して警報を発生、カスケード設備のUF6をカスケード排気系で排気する地震発生時のカスケード排気のインターロックを設ける旨を記載）	<b>【説明書】</b> ・図1-1-1 インターロック動作概要図 ・図1-2-2 カスケード設備 主要配管(RE-2A)インターロック	2	
		計測範囲	-	-	-					
		警報動作範囲	Gal	-	250					125
		個数	個	-	6					6
		設置床（室名称）	-	-	2号UF6電源室					

※ 耐震に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割り増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていることを示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 UF6処理設備）

設備	機器名称	今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの 前表を除く※	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.	
		項目	単位	変更前	変更後					
UF6処理設備	2号捕集排気系ロータリポンプ	主要寸法	たて mm	■	■	・外形寸法の変更のみであり、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。	-	【構造図】 ・図3.1.19 UF6 処理設備 構造図 2号捕集排気系ロータリポンプ 【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更後）	3	
横	mm	■	■							
高さ	mm	■	■							
UF6処理設備	2Aカスケード排気系プースタポンプ（CS系）	主要寸法	容量	m <sup>3</sup> /h/基	■	■	・ポンプの容量は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、技術基準で該当するものではなく、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ・加工施設の閉じ込め機能に関する説明書（使用物質に対して十分な耐食性を有する鋼鉄を使用する旨を記載） ・加工施設の火災防護に関する説明書（UF6 を内包する機器等の主要な部分は、不燃性の材料を使用する旨を記載）	-	【構造図】 ・図3.1.8 UF6 処理設備 構造図 2Aカスケード排気系プースタポンプ（CS系） 【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更後）	4
			たて	mm	■	■				
			横	mm	■	■				
		高さ	mm	■	■					
		主要材料	-	■	■	・第十条 閉じ込め機能 ・第十一条 火災等による損傷の防止				
原動機出力	kW/基	2.2	1.5	・ポンプの出力は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、技術基準で該当するものではなく、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。						
UF6処理設備	2号カスケード排気系プースタポンプ（CB系）	主要寸法	容量	m <sup>3</sup> /h/基	■	■	・ポンプの容量は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、技術基準で該当するものではなく、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ・加工施設の閉じ込め機能に関する説明書（使用物質に対して十分な耐食性を有する鋼鉄を使用する旨を記載） ・加工施設の火災防護に関する説明書（UF6 を内包する機器等の主要な部分は、不燃性の材料を使用する旨を記載）	-	【構造図】 ・図3.1.9 UF6 処理設備 構造図 2号カスケード排気系プースタポンプ（CB系） 【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更後）	5
			たて	mm	■	■				
			横	mm	■	■				
		高さ	mm	■	■					
		主要材料	-	■	■	・第十条 閉じ込め機能 ・第十一条 火災等による損傷の防止				
原動機出力	kW/基	2.2	1.5	・ポンプの出力は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、技術基準で該当するものではなく、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。						
UF6処理設備	主配管	外径	mm	48.6	-	・材料に変更はなく、使用する配管の種類が減るものであり、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。（本設備の配管に要求される閉じ込め、耐食性、耐圧強度、不燃性材料の使用に変更はない。）	-	【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB、CS系）」、「捕集排気系」（変更後）	6	
				76.3	76.3					
UF6処理設備	主配管	名称	mm	89.1	89.1	・仕様、材料に変更がないため、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。（本設備の配管に要求される閉じ込め、耐食性、耐圧強度、不燃性材料の使用に変更はない。）	-	【系統図】 ・図1.2.3 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更前） ・図1.2.4 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更後）	7	
				165.2	165.2					
UF6処理設備	主配管	名称	mm	3.0	-	・仕様、材料に変更がないため、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。（本設備の配管に要求される閉じ込め、耐食性、耐圧強度、不燃性材料の使用に変更はない。）	-	【系統図】 ・図1.2.3 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更前） ・図1.2.4 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更後）	8	
				3.0	3.0					
UF6処理設備	主配管	名称	mm	3.0	3.0	・仕様、材料に変更がないため、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。（本設備の配管に要求される閉じ込め、耐食性、耐圧強度、不燃性材料の使用に変更はない。）	-	【系統図】 ・図1.2.3 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更前） ・図1.2.4 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更後）	9	
				3.4	3.4					
UF6処理設備	主配管	名称	mm	3.0	-	・仕様、材料に変更がないため、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。（本設備の配管に要求される閉じ込め、耐食性、耐圧強度、不燃性材料の使用に変更はない。）	-	【系統図】 ・図1.2.3 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更前） ・図1.2.4 UF6 処理設備 系統概略図「製品系」（変更後）	10	
				3.4	3.4					

※ 前表に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 前表評価対象の網羅性について」において、割り増し係数が変更となったもの、前表重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 UF6処理設備）

設備	機器名称		今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの （耐震を除く※）	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.
			項目	単位	変更前	変更後				
UF6処理設備	主配管	弁：2AV-U2004-B～G ～ ・弁：2AV-U2004-I～N ・弁：2AV-U2002-H	名称	—	弁：2AV-U2004-B～G ～ ・弁：2AV-U2004-I～N ・弁：2AV-U2002-A, H	弁：2AV-U2004-B～G ～ ・弁：2AV-U2004-I～N ・弁：2AV-U2002-H	・仕様、材料に変更がないため、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。（本設備の配管に要求される閉じ込め、耐食性、耐圧強度、不燃性材料の使用に変更はない。）	—	【系統図】 ・図1.2.3 UF6 処理設備 系統概略図「廃品系」 （変更前） ・図1.2.4 UF6 処理設備 系統概略図「廃品系」 （変更後）	11
UF6処理設備	主配管	弁：2AV-U2002-A～G, M, N 及 び2AV-U2007-A～G, M, N ～ ・2号廃品回収槽（A～ G, M, N） ・弁：2AV-U2011-A～G, M, N	名称	—	弁：2AV-U2002-A～G, M, N ～ ・2号廃品回収槽（A～G, M, N） ・弁：2AV-U2011-A～G, M, N	弁：2AV-U2002-A～G, M, N 及 び2AV-U2007-A～G, M, N ～ ・2号廃品回収槽（A～G, M, N） ・弁：2AV-U2011-A～G, M, N	・仕様、材料に変更がないため、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。（本設備の配管に要求される閉じ込め、耐食性、耐圧強度、不燃性材料の使用に変更はない。）	—	【系統図】 ・図1.2.3 UF6 処理設備 系統概略図「廃品系」 （変更前） ・図1.2.4 UF6 処理設備 系統概略図「廃品系」 （変更後）	12
UF6処理設備	主配管	2号捕集排気系ケミカル ラップ(NaF)A, B ～ 2号捕集排気系ケミカル ラップ(A1203)A, B	名称	—	—	2号捕集排気系ケミカル ラップ(NaF)A, B ～ 2号捕集排気系ケミカル ラップ(A1203)A, B	・本配管は、UF6がケミカルラップ(NaF)で捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。※	—	【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB, CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB, CS系）」、「捕集排気系」（変更後）	13
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	—		廃ガス				
			外径	mm		76.3				
			厚さ	mm		3.0				
			主要材料	—		■				
			配管番号	—		2.4-2				
UF6処理設備	主配管	2号捕集排気系ケミカル ラップ(A1203)A, B ～ 弁：2AV-U1023-A, B	名称	—	—	2号捕集排気系ケミカル ラップ(A1203)A, B ～ 弁：2AV-U1023-A, B	・本配管は、ケミカルラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。※	—	【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB, CS系）」、「捕集排気系」（変更前） ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系（CB, CS系）」、「捕集排気系」（変更後）	14
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	—		廃ガス				
			外径	mm		34.0				
				mm		76.3				
			厚さ	mm		3.0				
				mm		3.0				
主要材料	—	■								
配管番号	—	2.4-3								

※ 耐震に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割増し係数に変更となったもの、耐震重要度分類に変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。



今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 UF6処理設備）

設備	機器名称		今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの （耐震を除く※）	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.
			項目	単位	変更前	変更後				
UF6処理設備	主配管	2A カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF) (CS系)A,B ～ 2A カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CS系)A,B	名称	—	—	2A カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF) (CS系)A,B ～ 2A カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CS系)A,B	・本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ※	—	【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更前) ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更後)	15
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	—		廃ガス				
			外径	mm		165.2				
			厚さ	mm		3.4				
			主要材料	—		■				
			配管番号	—		2.5-3				
UF6処理設備	主配管	2A カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CS系)A,B ～ 弁：2AV-UA313	名称	—	—	2A カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CS系)A,B ～ 弁：2AV-UA313	・本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ※	—	【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更前) ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更後)	16
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	—		廃ガス				
			外径	mm		114.3				
			厚さ	mm		165.2				
			厚さ	mm		3.0				
			厚さ	mm		3.4				
主要材料	—	■								
配管番号	—	2.5-4								
UF6処理設備	主配管	2号カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF) (CB系)A,B ～ 2号カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CB系)A,B	名称	—	—	2号カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF) (CB系)A,B ～ 2号カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CB系)A,B	・本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ※	—	【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更前) ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更後)	17
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	—		廃ガス				
			外径	mm		165.2				
			厚さ	mm		3.4				
			主要材料	—		■				
			配管番号	—		2.6-3				

※ 耐震に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割り増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 UF6処理設備）

設備	機器名称		今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの （耐震を除く※）	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.
			項目	単位	変更前	変更後				
UF6処理設備	主配管	2号カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CB系)A,B ～ 弁：2AV-U4014	名称	-	-	2号カスケード排気系ケミカルトラップ(A1203) (CB系)A,B ～ 弁：2AV-U4014	・本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ※	-	【系統図】 ・図1.2.1 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更前) ・図1.2.2 UF6 処理設備 系統概略図「原料発生・供給系」、「製品系」、「カスケード排気系(CB, CS系)」、「捕集排気系」(変更後)	18
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		114.3				
				mm		165.2				
			厚さ	mm		3.0				
				mm		3.4				
主要材料	-	■								
配管番号	-	2,6-4								
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)C ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)C	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)C ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)C	・本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ※	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	19
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		60.5				
				mm		2.8				
			厚さ	mm		■				
			主要材料	-		■				
配管番号	-	2,7-7								
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)C ～ 弁：2AV-U5034-C	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)C ～ 弁：2AV-U5034-C	・本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ※	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	20
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		48.6				
				mm		60.5				
			厚さ	mm		3.0				
				mm		2.8				
主要材料	-	■								
配管番号	-	2,7-8								
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)D ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)D	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)D ～ 2号一般バージ系ケミカルトラップ(A1203)D	・本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。 ※	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	21
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		60.5				
				mm		2.8				
			厚さ	mm		■				
			主要材料	-		■				
配管番号	-	2,7-15								

※ 耐震に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 UF6処理設備）

設備	機器名称		今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの 耐震を除く※	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.
			項目	単位	変更前	変更後				
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)D ～ 弁：2AV-U5034-D	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)D ～ 弁：2AV-U5034-D	<ul style="list-style-type: none"> <li>本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。</li> <li>本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。※</li> </ul>	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	22
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		48.6				
				mm		60.5				
			厚さ	mm		3.0				
				mm		2.8				
主要材料	-	■								
配管番号	-	2.7-16								
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカル トラップ(NaF)A ～ 2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)A	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカル トラップ(NaF)A ～ 2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)A	<ul style="list-style-type: none"> <li>本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。</li> <li>本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。※</li> </ul>	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	23
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		60.5				
				mm		2.8				
			厚さ	mm		2.8				
			主要材料	-		■				
配管番号	-	2.8-8								
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)A ～ 弁：2AV-U5034-A	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)A ～ 弁：2AV-U5034-A	<ul style="list-style-type: none"> <li>本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。</li> <li>本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。※</li> </ul>	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	24
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		48.6				
				mm		60.5				
			厚さ	mm		3.0				
				mm		2.8				
主要材料	-	■								
配管番号	-	2.8-9								
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカル トラップ(NaF)B ～ 2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)B	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカル トラップ(NaF)B ～ 2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)B	<ul style="list-style-type: none"> <li>本配管は、ケミカルトラップ(NaF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。</li> <li>本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、耐震以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。※</li> </ul>	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	25
			最高使用圧力	hPa		960				
			最高使用温度	℃		40				
			流体等の種類	-		廃ガス				
			外径	mm		60.5				
				mm		2.8				
			厚さ	mm		2.8				
			主要材料	-		■				
配管番号	-	2.8-11								

※ 耐震に係る条文的適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（4次申請 UF6処理設備）

設備	機器名称		今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの （前表を除く※）	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.
			項目	単位	変更前	変更後				
UF6処理設備	主配管	2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)B ～ 弁：2AV-U5034-B	名称	-	-	2号一般バージ系ケミカル トラップ(A1203)B ～ 弁：2AV-U5034-B	・本配管は、ケミカルトラップ(haF)でUF6が捕集された後の既設のUF6を内包しない配管であり、許可での耐震分類の見直しに伴い今回新たに申請対象としたものである。 ・本配管は系統として耐震評価の対象となるが、ウランを内包しないため、前表以外で添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。※	-	【系統図】 ・図1.2.5 UF6 処理設備 系統概略図「一般バージ系」	26
			最高使用圧力	hPa	-	960				
			最高使用温度	℃	-	40				
			流体等の種類	-	-	腐ガス				
			外径	mm	-	48.6				
				mm	-	60.5				
			厚さ	mm	-	3.0				
				mm	-	2.8				
主要材料	-	-	■							
配管番号	-	-	2.8-12							
計装設備	製品ガス移送ヘッド圧力(2号製品コールドトラップ)	-	検出器の種類	-	-	圧力計	・第十八条 警報設備等	・警報設備等に関する説明書 （インターロックの制限値、検出端、動作、動作概要図、電気信号図を記載） （コールドトラップのガス移送時に、ガス移送配管の圧力が上昇（ただし大気圧以下）した場合に、コールドトラップの移送停止及び回収側の槽の回収を停止する「ガス移送ヘッド配管圧力異常によるガス移送停止のインターロック」を設ける旨を記載）	【説明書】 ・図-1-1-3 UF6 処理設備 インターロック動作概要図 ・図-1-2-8 UF6処理設備（2号製品コールドトラップ）インターロック ・図-1-2-9 UF6処理設備（2号製品回収槽）インターロック	27
			計測範囲	hPa	-	0～1333				
			警報動作範囲	-	-	大気圧(960 hPa)を超えない範囲				
			個数	台	-	2				
			設置床(室名称)	-	-	2号発回均質室				
計装設備	高品ガス移送ヘッド圧力(2A高品コールドトラップ)	-	検出器の種類	-	-	圧力計	・第十八条 警報設備等	・警報設備等に関する説明書 （インターロックの制限値、検出端、動作、動作概要図、電気信号図を記載） （2A高品コールドトラップから2号製品回収槽へのガス移送時に2号製品回収槽の放熱に伴う回収停止が発生した場合に、系内の圧力の上昇を避けるため、待機中の2号製品回収槽が自動で回収する「製品回収槽回収停止による待機槽回収開始のインターロック」を設ける旨を記載）	【説明書】 ・図-1-1-4 UF6 処理設備 インターロック動作概要図 ・図-1-2-13 UF6処理設備（2A高品コールドトラップ）インターロック ・図-1-2-14 UF6処理設備（2号製品回収槽）インターロック	28
			計測範囲	hPa	-	0～1333				
			警報動作範囲	-	-	大気圧(960 hPa)を超えない範囲				
			個数	台	-	2				
			設置床(室名称)	-	-	2A中間室				
計装設備	均質槽入口圧力(2号一般バージ系コールドトラップ)	-	検出器の種類	-	-	圧力計(均質槽F)	・第十八条 警報設備等	・警報設備等に関する説明書 （インターロックの制限値、検出端、動作、動作概要図、電気信号図を記載） （コールドトラップのガス移送時に、ガス移送配管の圧力が上昇（ただし大気圧以下）した場合に、コールドトラップの移送停止及び回収側の槽の回収を停止する「ガス移送ヘッド配管圧力異常によるガス移送停止のインターロック」を設ける旨を記載）	【説明書】 ・図-1-1-5 UF6 処理設備 インターロック動作概要図 ・図-1-2-21 UF6処理設備（2号一般バージ系コールドトラップ）インターロック	29
			計測範囲	hPa	-	0～4000				
			警報動作範囲	-	-	大気圧(960 hPa)を超えない範囲				
			個数	台	-	2				
			設置床(室名称)	-	-	2号発回均質室				
計装設備	原料シリンダ槽入口圧力(2号一般バージ系コールドトラップ)	-	検出器の種類	-	-	圧力計(原料シリンダ槽)	・第十八条 警報設備等	・警報設備等に関する説明書 （インターロックの制限値、検出端、動作、動作概要図、電気信号図を記載） （コールドトラップのガス移送時に、ガス移送配管の圧力が上昇（ただし大気圧以下）した場合に、コールドトラップの移送停止及び回収側の槽の回収を停止する「ガス移送ヘッド配管圧力異常によるガス移送停止のインターロック」を設ける旨を記載）	【説明書】 ・図-1-1-6 UF6 処理設備 インターロック動作概要図 ・図-1-2-22 UF6処理設備（2号一般バージ系コールドトラップ）インターロック	30
			計測範囲	hPa	-	0～1333				
			警報動作範囲	-	-	大気圧(960 hPa)を超えない範囲				
			個数	台	-	2				
			設置床(室名称)	-	-	2号発回均質室				
計装設備	温水ユニット温度(2号発生槽)	-	検出器の種類	-	-	測温抵抗体	・第十八条 警報設備等	・警報設備等に関する説明書 （インターロックの制限値、検出端、動作、動作概要図、電気信号図を記載） 加熱用温水の温度が上昇した場合も同時に温水ユニット温度高による加熱停止のインターロックを設ける旨を記載）	【説明書】 ・図-1-1-2 UF6 処理設備 インターロック動作概要図 ・図-1-2-5 UF6処理設備（2号発生槽）インターロック	31
			計測範囲	hPa	-	0.0～100.0				
			警報動作範囲	-	-	管理温度■を超えない範囲				
			個数	台	-	2				
			設置床(室名称)	-	-	2号発回均質室				

※ 耐震に係る条文的適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていることを示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（2A後半分速心機等更新に係る取工取）

設備	機器名称	今回変更となる仕様 (仕様表)の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの (耐震を除く)	変更となる仕様に係る添付説明書 (次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。)	変更となる仕様に係る図面	No.			
		項目	単位	変更前	変更後							
カスケード設備	主配管 (2A後半分)	2Aカスケード室第1 支持点 ～ 進心分離機 (RE- ■)	最高使用圧力	hPa	—	960	・第十五条 材料及び構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書 (使用物質に対して十分な耐食性を有する材料を使用する等を記載。また、設計は既認可の2A前半分の配管と同一であることから、既認可の取工取の呼び出しを記載。)</li> <li>加工施設の火災防護に関する説明書 (UF6 を内包する機器等の主要な部分は、不燃性の材料を使用する旨を記載。また、設計は既認可の2A前半分の配管と同一であることから、既認可の取工取の呼び出しを記載。)</li> <li>強度に関する説明書 (JISに基づく外圧に対する強度計算の方針を記載。また、評価結果は既認可の2A前半分の配管と同一であることから、既認可の取工取の呼び出しを記載。)</li> </ul>	【系統図】 ・図1.1.1 カスケード設備 系統概略図「全体図」 (変更前) ・図1.1.2 カスケード設備 系統概略図「全体図」 (変更後) ・図1.1.3 カスケード設備 系統概略図「カスケード室詳細」	32		
			最高使用温度	℃	—	40	・第十五条 材料及び構造					
			流体等の種類	—	—	気体UF6	・第十条 閉じ込めの機能					
			外径	mm	—	34.0	—				第十五条 材料及び構造	
						114.3						
						139.8						
						165.2						
			厚さ	mm	—	3.0	—				第十五条 材料及び構造	
						3.0						
						3.4						
	3.4											
	主要材料	—	—	■	・第十条 閉じ込めの機能 ・第十一条 火災等による損傷の防止 ・第十五条 材料及び構造							
	主配管 (2A後半分)	2Aカスケード室第1 支持点 ～ 進心分離機 (RE- ■)	2Aカスケード室第1 支持点 ～ 進心分離機 (RE- ■)	最高使用圧力	hPa	—	960	・第十五条 材料及び構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書 (使用物質に対して十分な耐食性を有する材料を使用する等を記載。また、設計は既認可の2A前半分の配管と同一であることから、既認可の取工取の呼び出しを記載。)</li> <li>加工施設の火災防護に関する説明書 (UF6 を内包する機器等の主要な部分は、不燃性の材料を使用する旨を記載。また、設計は既認可の2A前半分の配管と同一であることから、既認可の取工取の呼び出しを記載。)</li> <li>強度に関する説明書 (JISに基づく外圧に対する強度計算の方針を記載。また、評価結果は既認可の2A前半分の配管と同一であることから、既認可の取工取の呼び出しを記載。)</li> </ul>	【系統図】 ・図1.1.1 カスケード設備 系統概略図「全体図」 (変更前) ・図1.1.2 カスケード設備 系統概略図「全体図」 (変更後) ・図1.1.3 カスケード設備 系統概略図「カスケード室詳細」	33	
				最高使用温度	℃	—	40	・第十五条 材料及び構造				
				流体等の種類	—	—	気体UF6	・第十条 閉じ込めの機能				
				外径	mm	—	34.0	—				第十五条 材料及び構造
							114.3					
							139.8					
							165.2					
				厚さ	mm	—	3.0	—				第十五条 材料及び構造
3.0												
3.4												
3.4												
主要材料	—	—	■	・第十条 閉じ込めの機能 ・第十一条 火災等による損傷の防止 ・第十五条 材料及び構造								

※ 耐震に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（2A後半分遠心機等更新に係る取工図）

設備	機器名称	今回変更となる仕様 (仕様表)の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの (耐震を除く※)	変更となる仕様に係る添付説明書 (次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。)	変更となる仕様に係る図面	No.		
		項目	単位	変更前	変更後						
カスケード設備	遠心分離機（2A後半分）	最高使用圧力	hPa	—	960	・第十五条 材料及び構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核燃料物質の臨界防止に関する説明書 (事業変更許可申請書に示すように、臨界計算を行った結果、実効増倍率は0.95以下であり、カスケード設備は臨界に達することなく、濃縮度以外の核的制限値を設定する必要はない旨を記載。また、評価結果は既認可の2A前半分と同一であることから、既認可の取工図の呼び出しを記載。)</li> <li>・加工施設の閉じ込めの機能に関する説明書 回転体が破損してもケーシングの真空気密機能が十分に保たれるように、破壊試験等により裏付けられた強度設計とする。使用圧力において十分な耐食性を有する材料を使用する旨を記載。また、評価結果は既認可の2A前半分と同一であることから、既認可の取工図の呼び出しを記載。)</li> <li>・強度に関する説明書 (JISに基づく外圧に対する強度計算の方針を記載。また、評価結果は既認可の2A前半分と同一であることから、既認可の取工図の呼び出しを記載。)</li> <li>・加工施設の火災防護に関する説明書 (UF6を内包する機器等の主要な部分は、不燃性の材料を使用する旨を記載。また、設計は既認可の2A前半分と同一であることから、既認可の取工図の呼び出しを記載。)</li> <li>・放射線による被ばくの防止に関する説明書 線源として追加となる新型遠心機の個数等を踏まえて評価した内容を記載。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【系統図】</li> <li>・図1.1.1 カスケード設備 系統概略図「全体図」(変更前)</li> <li>・図1.1.2 カスケード設備 系統概略図「全体図」(変更後)</li> <li>・図1.1.3 カスケード設備 系統概略図「カスケード室詳細」</li> <li>【配置図】</li> <li>・図2.1.1 カスケード設備 機器配置概略図</li> <li>【構造図】</li> <li>・図3.1.1 カスケード設備 構造図</li> </ul>	34		
		最高使用温度	℃	—	40	・第十五条 材料及び構造					
		流体等の種類	—	—	—	気体UF6				・第十条 閉じ込めの機能	
		臨界管理	核的制限値	濃縮度	%	—				5	・第四条 核燃料物質の臨界防止
		主要寸法	上フランジ	内厚	mm	—				■■■■■	・第十条 閉じ込めの機能 ・第十五条 材料及び構造
				ケーシング	胴内径	mm				—	■■
			高さ		mm	—				■■	
			■■■■■ 内厚		mm	—				■■■■■	
			■■■■■ 内厚		mm	—				■■■■■	
			下端板	外径	mm	—				■■	
				外周部内厚	mm	—				■	
			下フランジ	内厚	mm	—				■■■■■	
				ブロック配管	外径	mm				—	■■
			—		—	—				■■	
		厚さ	mm		—	■■					
		主要材料	上フランジ	—	—	—				■■■■■	・第十条 閉じ込めの機能 ・第十一条 火災等による損傷の防止 ・第十五条 材料及び構造
			ケーシング	—	—	—				■■■■■	
			下フランジ	—	—	—				■■■■■	
			ブロック配管	—	—	—				■■■■■	
		個数	機	—	—	RE: ■■■■■				RE: ■■■■■	・第二十二条 運搬
備取所付	設置床（室名称）	—	—	—	2Aカスケード室	・溢水防護対象ではないため、添付書類で説明が必要となるものはないと整理。					

※ 耐震に係る条文的適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。

今回変更となる仕様（仕様表）と関係する添付説明書、図面の整理表（2A後半分連心機等更新に係る取工取）

設備	機器名称	今回変更となる仕様（仕様表）の項目				変更となる仕様に対して 技術基準上、添付説明書で説明が必要となるもの （耐震を除く※）	変更となる仕様に係る添付説明書 （次回以降の添付説明書の説明にて詳細を示す。）	変更となる仕様に係る図面	No.	
		項目	単位	変更前	変更後					
高周波電源設備	2A後半分 高周波インバータ装置	種類	—	—	■	・種類は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、添付書類で説明が必要となるものはないと整理。 ・第十八条 警報設備等	・警報設備等に関する説明書 （連心分離機の回転体が破損しても外筒（ケーシング）の真空気密性能を確保できるよう、高周波インバータ装置の周波数を制限する連心機過回転防止機能を設ける旨を記載。また、設計は既認可の2A前半分と同一であることから、既認可の取工取の呼び出しを記載。）	【配置図】 ・図2.2.1 高周波電源設備 機器配置概略図（2A後半分高周波インバータ装置） 【構造図】 ・図3.2.1、図3.2.2 高周波電源設備 構造図 【説明書】 ・図1 2A後半分高周波インバータブロック図	35	
		周波数	Hz	—	■					
		主要寸法	たて	mm	—	RE ■ : 1000				・外形寸法であり、添付説明書で説明が必要となるものはないと整理。
						RE ■ : 1000				
			横	mm	—	RE ■ : 2400				
						RE ■ : 1600				
		高さ	mm	—	RE ■ : 2250					
					RE ■ : 2250					
個数	台	—	RE ■	・個数は、濃縮の生産上の能力に係るものであり、添付書類で説明が必要となるものはないと整理。						
取 所 箇 所	設置床（室名称）	—	—	2号高周波電源室	・溢水防護対象ではないため、添付書類で説明が必要となるものはないと整理。					

※ 耐震に係る条文の適合性、網羅性については、「補足説明資料 耐震評価対象の網羅性について」において、割増し係数が変更となったもの、耐震重要度分類が変更となったものが漏れなく評価されていること等を示す。